市政に対する一般質問

(令和7年9月18日)

◎質問1番

16番 田 中 淳

1 今後の医療支援と今後の対応について

昨今、小千谷総合病院に対し市民の方々が現状の医療体制やマスコミ報道されている経営状況などに不安を感じているお話を聞いております。議会としても新潟県と国に対し病院の継続的運営を望む意見書を提出してまいりました。

公的病院とはいえ、旧小千谷総合病院と旧JA新潟厚生連魚沼病院の統合において、当市も予算措置を含め深くかかわってきており、本年2月には病院の母体であるJA新潟厚生連に対して花角知事や、厚生連が運営する病院がある6つの市の市長は6日、あわせておよそ19億円の支援を行うなど公的な活動もされております。

- ① 厚生連が運営する病院がある6つの市の厚生連に対する活動は令和7年度になってから情報が少ないが、現在どうなっているか。財政支援・運営母体の在り方・厚生連の母体となるJAグループの考えや方針、新潟県のスタンスなどについて伺います。
- ② 病院維持のために小千谷市が取り組めるのはどういったことをなすべきと考えているか。
- ③ 県立病院の運営がこのように報じられておりますから、状況としては楽観視できる様相ではありません。命を守る大切な病院機関であります。市長として病院維持への意気込みを聞かせて頂きたい。

2 当市に於ける農業の課題と対策について

令和5年に類似する本年の気象状況や市場のコメの価格急騰に対し、小千谷市の農作物に対しての捉え方と高温障害対策について質問するものです。

- ① 生産者コストに関してのデータとコメの市場価格に対しての考えを伺う。(具体的なデータはあるか。市場との価格差異は)
- ② 農業者が持続可能な経営ができる為には出荷額の平準化が必要と考える。当市独自の税優遇措置や作況年での支援制度の考えについて伺う。
- ③ 水利権を持つ取水口の施設修繕
- ④ 山間地での井戸掘削
- ⑤ 消雪井戸(県・町内)での立管バルブ設置の考え
- ⑥ 短期・中期・長期にわたる高温障害対策について市としての具体的な政策はあるのか。

◎質問2番

10番 住 安 康 一

1 家族介護者の支援について

- ① 「ユマニチュードの普及」について
 - ・小千谷市においても認知症施策や家族介護者支援の一環として、ユマニチュードの導入・普及を検討すべき。
 - ・市民や介護者、専門職の方や救急隊員を含む市の職員を対象としたユマニチュード研修や講座を開催すべき。
- ② 介護者にとって実用性の高いオレンジガイドに改善していくべきではないか。
- ③ 小千谷市においても、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業の取り組みを導入することで、介護者が孤立せず安心して介護を続けられる環境づくりにつながると考えます。「認知症高齢者家族やすらぎ支援事業」の導入を検討すべきではないか。
- ④ ケアラー支援条例制定の検討について。
- ⑤ 介護者同士のつながりの促進や、地域全体で支える体制強化を含めた介護者の孤立防止対策をどのように進めるのか。
- ⑥ 家族介護者を対象に介護研修を実施するなど、研修体制を整備し、家族介護者が安心して介護に取り組める環境を構築することが重要と考える。見解を伺う。

◎質問3番

13番 佐 藤 隆 一

1 小千谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

- ① 可能性を秘めているにも関わらず、普及が進んでいないのはどこに原因があるのでしょうか。太陽光発電などを見ると、町村などとの比較で見ても全く普及が進んでいませんが、どこに原因があるのでしょうか。
- ② 例えば、地熱発電は今後の事業展開が極めて有望視されながら、可能性はないと切り捨てられています。十分な検討がされているのでしょうか。
- ③ 中小水力発電は不適切と切り捨てていますが、津南町では事業化が進められています。最も適地とされる小千谷市がやる気がないのでは宝の持ち腐れになりかねませんが、全くやる気がないのでしょうか。
- ④ 現在の事業計画で進んだ場合、削減は可能なのでしょうか。
- ⑤ 国の原発回帰の方針から言うと、再エネ普及が進めば進むほど既存電気系統との切断の可能性が高まり、再エネ普及が進まないとい

ったジレンマに陥る可能性が高まりますが、そうしたことは起きえないと考えているのでしょうか。

- ⑥ 太陽光パネルの普及計画について、今後のスケジュールを示してください。

今年の夏の暑さは、異常ではなく今後も繰り返し生活を脅かすのではないかと考えられますが、どのように想定していますか。

- ⑦ 計画も大事ですが、要は具体的な事業を進めることです。何を具体化しようと考えていますか。

ゴミ処理計画の転換について、これまで繰り返し求めてきました。分別の徹底とリサイクル広場の市街地への移転を進めることなくして、環境田園都市小千谷市の発展はありません。考えをお聞かせください。

◎質問4番

8番内山博志

- 1 柏崎刈羽原発で事故が起き避難指示が出たときの避難について

- ① 国際基準のスフィア基準に適合した避難生活になるか。
- ② 要介護者や病人の運搬と受け入れ先について
- ③ 受け入れ先の施設数、収容人数について。
- ④ 駐車場の確保はどのようになるか。
- ⑤ 避難先の受け入れ状況について市長はどういう認識か。
- ⑥ 7つの自治体首長の「要望書」について知事の返答はいかがか。

要望が実現しない場合再稼働は認められないと考えるが市長のお考えを伺う。

- ⑦ 納得できる避難計画が出来ないまま東京電力が再稼働しないように「安全協定」事前了解権を強く主張すべきではないか。

- 2 市の非正規職員等（会計年度任用職員）の待遇改善について

- ① 正職員と同様に給与改定時期を4月に遡及すべくではないか。
- ② 勤勉手当の月数を正規職員並みに会計年度任用職員も引き上げるべきではないか。
- ③ 再度任用回数制限は廃止すべきではないか。
- ④ 給与の改定、昇級も正職員同様にすべきではないか。
- ⑤ 子の看護休暇の対象拡大、私傷病有給化など待遇を改善すべきではないか。
- ⑥ 待遇改善は、働く人たちの生活向上、市内経済の活性化の一助になると考えるが、市長はどう考えるか伺う。

- 3 猛暑から命を守るエアコン購入補助制度について

- ① 猛暑から命を守るエアコン購入補助制度の創設をしてはいかがか。

◎質問5番

2番 佐藤勝義

1 ホントカ。一周年の振り返りと今後について

- ① ホントカ。は令和7年9月28日に一周年を迎えます。この一年を振り返り運営面において、市長としての評価。そしてホントカ。を拠点とした益々の繁栄に向けた今後の市民総参加の加速について、どのように発信していくのか伺う。
- ② ホントカ。の規模では建築構造の特異性もあり、他の施設に比べ多額の計画修繕費を要するものと推測されます。各アンカーでは、それぞれ様々な特色があり、図書館の天上は和紙で構成されており、演アンカー、響アンカーであれば、音響設備や楽器などもあり、消耗する機材も多々あり、突発的な故障も懸念されます。計画修繕の項目や、そして修繕費に関して、どのように見込まれているのか伺う。
- ③ ホントカ。では、再生可能エネルギーによるエネルギー削減量にも注力している施設でもある。
太陽光発電・地中熱の利用・雪冷熱利用 この3点の削効果減を伺う。
また、そのメリット・デメリットなど、この先は公表する必要性があると考えが見解を伺う。
- ④ データ収集から、メリット・デメリットなど、今後は公表する必要性があると考え。また、市内の企業へのアプローチ、そして公共施設への展開はどのように考えているのか伺う。

◎質問6番

3番 和田忠篤

1 小千谷市人口ビジョンについて

- ① 若い女性の人口減少抑制について
 - ・若い女性の人口減少を抑えることが最重要課題とされます。市は流出要因をどう分析し、定着促進の施策をどう考えるのか伺います。
- ② 若者の人口流出と呼び戻しについて
 - ・若者が魅力を感じる施策や定住策を展開し流出を防ぎ、進学などで転出した若者を呼び戻す具体的取組と方向性について伺います。
- ③ 出生率と出生数の将来展望について
 - ・出生率を2050年に1.5へ向上させる展望が掲げられていますが、現実には減少傾向です。市の認識と回復に向けた施策強化を伺います。

- ④ 転入・転出の展望と改善について
 - ・社会減改善へU・Iターン促進や企業誘致が示されていますが、転出超過が続きます。市の受け止めと具体的な改善策を伺います。
- ⑤ 人口の3つの推計に対する考え方について
 - ・社人研推計、加速型、人口ビジョンで結果が異なります。市はどれを現実的と考え、目標達成の要因や困難な課題をどう認識するか伺います。

市政に対する一般質問

(令和7年9月19日)

◎質問7番

14番 久保田 陽 一

1 原発特措法対象拡大について

- ① 原発特措法対象範囲拡大までの今までの経緯は。(県議時代から国や県へどのような要望、活動を行ったのか)
- ② 特措法の対象拡大が小千谷市にどのような恩恵をもたらしどのような効果が期待されるのか。
- ③ 小千谷市として特措法の対象になる291号線に接続する道路や教育公共施設についてはある程度想定されているのか。
- ④ 原発特措法の対象範囲拡大とともに国に訴えてきた電源三法交付金制度の見直し(対象拡大)についても引き続きUPZ対象自治体と連携し国へ力強く要望すべきだが見解は。

2 外国人転入による諸課題について

- ① 近年当市についても外国人住民が増加傾向にあるが、市としてこの外国人転入、増加をどのように捉えているのか。また、それに伴い具体的にどのような課題が発生していると認識しているのか。
- ② 生活習慣や文化の違いから生じる住民間のトラブルについて、市にはどのような相談が寄せられているのか。また、外国人住民に対して、ゴミの分別方法や騒音など地域のルールを周知するための具体的な取り組みを行っているのか。
- ③ 外国人住民に対する相談についての窓口はどこになるのか。
(ゴミ・騒音は環境共生課? 交通マナーは防災安全課? それとも一元的に市民生活課?)
- ④ 外国人住民が地域活動(お祭り)やボランティア等に積極的に参加できるような仕組みづくりを市はどのように進めていくのか。
- ⑤ 福祉課等に設置されている手話や外国語の通訳に対応する専用タブレット「みえる通訳」。対応言語は日本手話・英語・中国語・韓国語・タイ語・ロシア語となっているが、小千谷市に在住の外国人に十分に対応できているのか。

3 小中学校体育館の環境改善について

- ① 今年度の猛暑に対して教育委員会で対策等協議を行ったのか。
- ② 昨年提案したスポットクーラー(移動式エアコン)や今回の冷風機や常設型のエアコンについて、教育・防災、様々な観点から有利な起債等を活用しながら早急に設置すべきと思うが見解は。

- ③ 昨年提案し、教育委員会も実際に足を運び効果を体感している遮熱シートについて、来年度から始まる東小千谷小学校の大規模改造工事などに合わせ、各体育館に施工すべきと強く思うが見解は。

◎質問 8 番

9 番 上 村 行 雄

- 1 小千谷市における今後の渇水対策について
 - ① 今年の渇水対策支援についての利用実績と利用者の反応について
 - ② 企業や消雪パイプ組合に向けた井戸水提供募集についての実績と経費補助について
 - ③ 災害用井戸水の提供依頼と新規の提供募集について
 - ④ 農業用ため池の貯水状況確認と定期的な調査と浚渫などの対策について
 - ⑤ 来年以降も懸念される渇水による農業用水確保とため池や井戸、ポンプの新規整備を国の事業で検討することについて
- 2 ゼロカーボンシティ実現に向けた取組について
 - ① 小千谷市地球温暖化対策実行計画における取組と進捗状況、削減数値実績と 2030 年度の目標値達成の見込みについて
 - ② 新焼却処理施設建設とカーボンニュートラル実現に向けどのようにリンクさせていくのかについて
 - ③ 先進事例における循環型農業と循環型再生エネルギーの可能性と検討の必要性について
 - ④ バイオプラスチック等製ごみ袋導入の検討について
 - ⑤ ごみ袋だけでなく多用途に活用できる研究の必要性について

◎質問 9 番

1 2 番 森 本 恵 理 子

- 1 錦鯉を活かしたまちづくりについて
 - ① 錦鯉を核としたまちづくりについて
 - ② 錦鯉の里のリニューアルについて
 - ③ 市民に愛される施設づくりについて
 - ④ 官民連携の強化について
 - ⑤ ブランド発信の強化について
- 2 おぢやまつりのありかたについて
 - ① イベント全般について
 - ② おぢやまつりに対する市の役割について
 - ③ おぢやまつりに対する市の役割について

3 部活動の地域移行について

- ① 種目間の不公平について
- ② 部活動地域移行の妥当性について

◎質問10番

11番 駒井和彦

1 昨今の市政、市政関連事案の現状と対応について

- ① J S ファンダリ破産の当市への影響について
 - ・雇用への影響、破産状況の把握・関係者へのヒアリング把握時期について
 - ・市の税金等、市財政に与える影響、今後の財政運営、予算編成等について
 - ・市としての支援・対策等について
- ② 新潟厚生連小千谷総合病院について
 - ・経営の現状について、当市の更なる支援等の必要性について
 - ・地域医療連携推進協議会の現状、スタンスについて
- ③ SDGs 未来都市選定について
 - ・選定の最大のメリットについて
 - ・選定のデメリットや課題について
 - ・小千谷らしさを打ち出す強みや特色をどの様に示していくかについて
 - ・市民への見える化、検証について
- ④ 猛暑・水不足による農業被害の抜本的対策と支援について
 - ・今夏の現状認識について
 - ・今後の対策計画、新たな水循環システムの導入の検討について
 - ・高温体制品種導入、省水型農法の普及支援について

2 観光振興における「ロケツーリズム」の推進と当市の可能性について

- ① 当市のこれまでのロケ実績の評価について
- ② 当市のロケ実績を更に観光振興に活かすための可能性について
- ③ ロケ地マップ作成や撮影支援制度の検討の必要性について
- ④ 撮影をきっかけとした観光振興、地域経済波及に結び付ける仕組みについて
- ⑤ (仮称)ロケ推進協議会の設置について

3 柏崎刈羽原発再稼働について

- ① 7月18日提出の要望書について
- ② 新聞掲載の新潟モデルについて
- ③ 使用済み核燃料最終処分場選定難航について

◎質問1 1番

6番 平 澤 智

1 地方創生2.0に対する当市の対応について

- ① 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生について。
- ② 首都圏一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散に対しての当市の考え方について
- ③ 付加価値創出型の新しい地方経済の創生について
- ④ デジタル・新技術の徹底活用について
- ⑤ 産官学金労言の連携など気運の向上について

◎質問1 2番

1番 廣 井 良 宣

1 防災について

- ① スフィア基準に沿った避難所整備について
- ② 災害用トイレの整備について
- ③ 災害関連死の認定について
- ④ 観光客の避難誘導等について
- ⑤ 移設される「そなえ館」について
- ⑥ 防災教育の取り組みについて
- ⑦ 児童・生徒の引き渡しについて